

基本目標	基本施策	施策内容	主な取組	実施計画	取組実績	委員からのコメント
<b>基本目標1【知】お互いを知り合う・わかり合う機会をつくろう</b>						
<b>1 地域コミュニティづくり</b>						
<b>(1) 気軽に声をかけ合う地域づくり</b>						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつや見守りに関する取組を周知します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動や身近な見守り活動を周知するための啓発品を作成、配布(5,000部)します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ標語を掲載したクリアファイルを5,000部作成し、小学1年生、本会が主催もしくは出席するイベント、会議等の参加者に配布した。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会など地域のコミュニティづくりのための団体の活動と連携、協力します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座のメニューを作成します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不実施</li> </ul>		
<b>2 福祉学習の推進</b>						
<b>(1) 学校などにおける多様な福祉学習の推進</b>						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協力校及びボランティア推進校事業を充実します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協力校及びボランティア推進校事業を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協力校(8校)に200,524円、ボランティア推進校(4校)に68,139円の補助金を交付した。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流、体験、学習を織り交ぜた多様な福祉学習を進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における福祉学習の活動を支援します。(目標数：18校)</li> <li>・当事者との交流を図るため、ゲストティーチャーとしての協力を呼びかけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における福祉学習の支援を16校で行った。</li> <li>・疑似体験に限らず、交流を中心とした体験や認知症サポーター養成講座等を取り入れたプログラムを実施した。</li> <li>・奥武蔵小学校、精明小学校、南高麗小学校において、視覚障害のある方との交流を図ることを重視した学習機会をつくることできた。</li> <li>・障害者スポーツ指導員や手話ボランティアに協力を得て、小学校の福祉学習において体験する機会(パラスポーツ、手話、点訳など)を作ることができた。</li> <li>・ゲストティーチャーとして協力していただける方の発掘のため、情報収集を行った。</li> <li>・美杉台児童館が美杉台小学校と協力して「新一年生あつまれ！」を開催し、新一年生に児童館を体験してもらった。</li> <li>・美杉台児童館が南高麗小学校に訪問し、「出前児童館」を行った。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の多様な福祉学習に関する理解を促進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉教育担当者会議を開催(1回/年)し、教職員に対し多様な福祉学習の理解を促します。</li> <li>・教職員の理解を促すため、実践事例をまとめ、紹介します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の小中学校を対象に「福祉教育担当者説明会」を開催し、10校が参加。多様な福祉学習について実践事例を通して伝えた。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉推進組織及びボランティア団体、福祉関係事業所などに、福祉学習への協力を呼びかけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉推進組織、福祉関係事業所、認知症サポーター養成講座修了者へ協力を呼びかけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉推進組織、福祉関係事業所等に協力を得て福祉学習を進めることができた。</li> <li>・地域包括支援センター、市と認知症サポーター養成講座を開催した。 小学校 6回(双柳小学校4年生84名、奥武蔵小学校4年生15名、原市場小学校5年生32名、加治東小学校3年生36名、富士見小学校4年生84名、名栗小学校6名)</li> <li>・加治東小学校3年生を対象に認知症サポーター養成講座を開催する際、加治東ふれあい広場の協力を得て寸劇を実施した。</li> </ul>		
<b>(2) 地域における福祉学習の推進</b>						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉推進組織などが実施する講座やイベントを支援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉推進組織などが実施する講座やイベントを支援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティソーシャルワーカーが地域福祉推進組織の実施する講座やイベントに対して企画段階から支援を行った。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症や障害への理解などに関する講座やイベントを実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市、関係団体と連携して、福祉スポーツ大会を開催(1回/年)します。</li> <li>・パラスポーツ普及のため、関係機関と調整し、障害者スポーツ指導員の活躍の場を提供します。</li> <li>・自治会や社協特別会員向けに出前講座のメニューを作成します。</li> <li>・本会職員のキャラバンメイト資格取得を支援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座の開催を支援した。 市民向け 1回(参加人数30名)</li> <li>・障害への理解を促進するため、障害者団体や福祉施設、ボランティア団体等の参加と連携により、福祉スポーツ大会を開催した。</li> <li>・飯能市体育協会と共催でパラスポーツの体験会を開催した。指導者として障害者スポーツ指導員に協力を依頼した。その後、市内小学校等からパラスポーツ体験の指導依頼が増え、障害者スポーツ指導員の活躍の場が広がった。</li> <li>・美杉台児童館で児童向けにパラスポーツのポッチャ体験を開催した。</li> <li>・不実施(自治会や社協特別会員向けに出前講座のメニューを作成)</li> <li>・本会職員のキャラバンメイト資格取得までは至らなかったが、認知症への理解を深めるため、認知症サポーター養成講座への受講はできた。</li> </ul>		
<b>3 情報の発信と共有</b>						
<b>(1) 多様な媒体によるわかりやすい情報の発信と共有</b>						
<b>【重点目標3】</b>						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる機会を通じて「ふくしの森プラン」を周知します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくしの森プランを周知する動画を作成します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくしの森プラン周知動画「ふくしの森を探せ」の動画作成準備を進めた。</li> <li>・ふくしの森プランの基本理念を掲載したクリアファイルを5,000部作成し、小学1年生、本会が主催もしくは出席するイベント、会議等の参加者に配布した。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふくしの森」の情報を共有できる様々なイベントを開催します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「正しくつながるためのSNS講座(仮称)」の開催を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不実施</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふくしの森」の情報を一覧できるよう、「ふくしの森マップ」を作成します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふくしの森」マップを作成します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「はんのうふくしの森プランポータルサイト」を開設し、サイト内に「ふくしの森マップ」を掲載した。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉センターやふくしの森ステーションなどを活用して、「ふくしの森」の情報コーナーを設置します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発信内容、設置場所を検討の上、設置します。(目標数：7か所)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふくしの森の情報コーナー」の設置を念頭に次年度に予算化した。(タブレット等)</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所、店舗などが集う場を活用した情報発信を促進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくしの森プランを周知する動画を作成します。</li> <li>・情報の発信、共有に協力してもらえる事業所の把握を進めます。</li> <li>・情報発信の媒体を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくしの森プラン周知動画「ふくしの森を探せ」の動画作成準備を進めた。</li> <li>・情報発信のためのツールについて検討を始めた。</li> </ul>		

基本目標	基本施策	施策内容	主な取組	実施計画	取組実績	委員からのコメント
			<ul style="list-style-type: none"> <li>「ふくしの森」の情報をSNSなどを活用して発信するとともに、市民の情報発信を支援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェイスブックを活用し、「ふくしの森」の情報を発信するとともに、市民の情報発信を支援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェイスブックで第3次ふくしの森プランの情報及びふくしの森マップの情報を発信した。</li> <li>市民の情報発信の支援はできなかった。</li> </ul>	

基本目標	基本施策	施策内容	主な取組	実施計画	取組実績	委員からのコメント
<b>基本目標2【交】交流が生まれる居場所と地域の移動・交通をつくろう</b>						
<b>1 交流の場づくり</b>						
<b>(1) 地域の居場所などの交流の場づくり</b> <span style="float: right;"><b>【重点目標1】</b></span>						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人の地域における公益的な取組と連携した地域の居場所づくりを支援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人と連携して地域の居場所づくりに取り組みます。(目標数：1か所)</li> <li>・社会福祉法人の地域における公益的な取組を進めるため、管理者級職員による「公益的な取組に関する意見交換会」を開催(1回/年)します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名栗園と共催で、「ふれあい交流室なぐりえんカレー食堂」を定期開催した。</li> <li>・地域における公益的な取組の推進(埼玉県社協モデル事業)の一環として、市内9社会福祉法人の理事長等を対象に意見交換会を1回開催。それを機に、連携による地域公益活動を取り組むネットワーク組織設立に向け、実務者級職員による検討の場である「飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会(仮称)設立準備会」を2回開催した。</li> <li>・中山でのサロン立上げのための話し合いに「NPO法人あおーら」の参画を得た。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所づくりのため、空き家や空き店舗などの活用を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な取組なし</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食」を通じた居場所づくりへの支援を強化します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食」を通じた居場所づくりへの財政的支援を見直すため、既存の要綱の見直しを図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要綱を見直すための検討を行った。</li> <li>・双柳地区において、「食」を通じた居場所づくりの立ち上げを支援した。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の居場所づくりへの支援を充実します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の居場所づくりの活動を支援するため、補助要綱の充実を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助要綱を見直すための検討を行った。</li> </ul>		
<b>(2) 意見を交わせる場づくり</b>						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくしの森地区別懇談会や福祉関係事業者懇談会を開催し、地域でできることなどを考える機会をつくります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくしの森地区別懇談会(13会場、1回/年)、福祉関係事業者懇談会(1回/年)を開催します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区第2層協議体や地域福祉推進組織の会議を活用、もしくは新たに話し合いの場を設置して、地区別地域福祉活動計画の策定を開始した。(飯能中央、精明、双柳、南高麗、吾野)</li> <li>・多職種連携のための「飯能・日高地区ワールドカフェ(2回開催)」の運営支援を行った。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の住民や地域団体とともに、ふくしの森圏域ごとの活動計画をつくります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区において計画づくりに向けて働きかけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区第2層協議体や地域福祉推進組織の会議を活用、もしくは新たに話し合いの場を設置して、地区別地域福祉活動計画の策定を開始した。(飯能中央、精明、双柳、南高麗、吾野)</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの進め方に関する学習の機会を提供します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシリテーション研修を開催(1回/年)します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民向けファシリテーション研修を開催し、22名の参加を得た。</li> </ul>		
<b>2 地域の移動・交通の充実</b>						
<b>(1) 身近な外出支援の仕組みづくり</b> <span style="float: right;"><b>【重点目標1】</b></span>						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉推進組織や介護保険の介護予防・日常生活支援総合事業などによる、支え合いの外出の機会づくりや活動を支援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人の地域における公益的な取組を進めるため、管理者級職員による「公益的な取組に関する意見交換会」を開催(1回/年)します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における公益的な取組の推進(埼玉県社協モデル事業)の一環として、市内9社会福祉法人の理事長等を対象に意見交換会を1回開催。それを機に、連携による地域公益活動を取り組むネットワーク組織設立に向け、実務者級職員による検討の場である「飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会(仮称)設立準備会」を2回開催した。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合いによる外出支援の学習会を開催します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合いによる外出支援の学習会について検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1層協議体にて『住民主体による「移動・移送支援サービス」に関する研修会(市主催)』についての支援を行なった。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉関係事業所や社会福祉法人に、外出支援の協力を呼びかけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人の地域における公益的な取組を進めるため、管理者級職員による「公益的な取組に関する意見交換会」を開催(1回/年)します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における公益的な取組の推進(埼玉県社協モデル事業)の一環として、市内9社会福祉法人の理事長等を対象に意見交換会を1回開催。それを機に、連携による地域公益活動を取り組むネットワーク組織設立に向け、実務者級職員による検討の場である「飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会(仮称)設立準備会」を2回開催した。</li> </ul>		
<b>(2) 外出しやすい環境づくり</b>						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすの貸出や福祉移送サービスの充実を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす貸出事業の要綱を作成し、ふくしの森ステーション(7拠点)で貸し出すことができる体制を整備します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくしの森ステーション(7拠点)で「車いす“ちょい貸し”事業」を開始した。</li> </ul>		

基本目標	基本施策	施策内容	主な取組	実施計画	取組実績	委員からのコメント
<b>基本目標3【支】支え合いの仕組みをつくろう</b>						
<b>1 地域で支え合う人の育成</b>						
			<b>【重点目標4】</b>			
		(1) ふくしの森サポーターの創設	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふくしの森サポーターの登録と活動の仕組みをつくりまします。</li> <li>市民会議などと協力して、ふくしの森サポーター講座を開催します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふくしの森サポーターの位置付け、登録制度、養成方法、周知方法についてはんこの森プラン推進市民会議と検討を進めます。</li> <li>ふくしの森サポーターの位置付け、登録制度、養成方法、周知方法についてはんこの森プラン推進市民会議と検討を進めます。</li> <li>地域活動者とともに、「全国校区・小地域福祉活動サミットinさやま」に参加します。（目標参加者数：30人）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「はんこの森プラン推進市民会議」を8回開催し、ふくしの森サポーターの位置付け、登録制度、養成方法、周知方法について検討を進めます。</li> <li>「はんこの森プラン推進市民会議」を8回開催し、ふくしの森サポーターの位置付け、登録制度、養成方法、周知方法について検討を進めます。</li> <li>地域活動者とともに、「全国校区・小地域福祉活動サミットinさやま」に参加した。（参加者数：27名）また、合計47,000円の参加費補助金を交付した。</li> </ul>	
		(2) ボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアセンター機能の充実を図ります。</li> <li>様々なスキルのある人や活動意欲のあるボランティアの登録システムを充実します。</li> <li>ボランティアの講座を充実し、育成を進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアセンター機能の充実について検討します。</li> <li>様々なスキルのある人や活動意欲のあるボランティアの登録システムについて検討します。</li> <li>ニーズに応じたボランティア講座を開催し、ボランティアを育成します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「運営委員会」を年3回、その他「ワーキンググループ」を7回実施しボランティアセンター事業の実施について検討し、運営委員会が主体となり「ボランティア交流会」を開催した。</li> <li>不実施</li> <li>ボランティアを始めて体験する方を対象とした「ボランティア初めて講座」と「フードバンク講座」の2講座を実施した。</li> <li>「手話講座」を開催して、手話の理解とボランティアの育成を行った。</li> <li>「点訳ボランティア講座」で点訳ボランティアを育成した。</li> </ul>	
<b>2 支え合いの地域づくり</b>						
			<b>(1) 地域福祉推進組織の全圏域での設立</b>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域福祉推進組織設立への支援体制を強化するため、コミュニティソーシャルワーカーを「ふくしの森」全圏域に配置します。</li> <li>地域福祉推進組織設立への支援体制を強化するため、ふくしの森ステーションを「ふくしの森」全圏域に設置します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティソーシャルワーカーを増員（2名）します。</li> <li>コミュニティソーシャルワーカー事業規程を作成し、運用します。</li> <li>地域福祉推進組織設立準備金制度の創設について検討します。</li> <li>コミュニティソーシャルワーカーの増員に合わせ、ふくしの森ステーションの増設を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティソーシャルワーカーを1名増員した。</li> <li>不実施（コミュニティソーシャルワーカー事業規程を作成・運用）</li> <li>不実施（地域福祉推進組織設立準備金制度の創設）</li> <li>飯能市に対し、「コミュニティソーシャルワーカー配置計画」を作成・提案した。</li> </ul>		
			<b>(2) 地域福祉推進組織の活動の充実</b>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティソーシャルワーカーを中心に、地域福祉推進組織の活動を支援します。</li> <li>地域福祉推進組織交流会の開催などにより、地域福祉推進組織間の相互交流や情報共有を充実します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティソーシャルワーカーを中心に地域福祉推進組織（7組織）へ技術提供、情報提供により支援します。</li> <li>地域福祉推進組織交流会を開催（1回/年）し、地域福祉推進組織間の相互交流や情報共有を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域福祉推進組織（7組織）に対して、コミュニティソーシャルワーカーを中心に技術提供、情報提供により支援を行った。</li> <li>「地域福祉推進組織交流会」を開催し、50名の参加を得た。</li> </ul>		
			<b>(3) 自治会との連携</b>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会が実施する福祉に関する活動を支援します。</li> <li>自治会と地域団体との連携を支援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座のメニューを作成し、自治会活動を支援します。</li> <li>要望に応じ、自治会と地域団体との連携を支援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不実施</li> <li>地域において、自治会と地域団体が連携しやすい話し合いの場を設けた。</li> </ul>		
			<b>(4) 民生委員児童委員協議会との連携</b>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員・児童委員と連携して、地域課題の解決に向けた取組を進めます。</li> <li>民生委員児童委員協議会の活動を支援します。</li> <li>民生委員児童委員協議会と連携し、「静かな見守り活動事業」を充実します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて、民生委員・児童委員と連携し、地域課題の解決に向けた取組を進めます。</li> <li>出前講座のメニューを作成し、民生委員児童委員協議会の活動を支援します。</li> <li>民生委員・児童委員から寄せられた意見をもとに、「静かな見守り活動事業」の充実を進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員・児童委員と地域課題を共有し、適宜、課題解決に向けた取組を進めることができた。</li> <li>不実施</li> <li>民生委員・児童委員から寄せられた意見・要望をもとに、事業周知用のチラシを作成した。</li> </ul>		
			<b>(5) 多様な活動の連携</b>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉関係事業者やボランティア団体などの交流イベントや、福祉関係事業者懇談会を開催します。</li> <li>社会福祉法人の地域における公益的な取組との連携を強化します。</li> <li>社会福祉協議会の特別会員などと連携し、地域福祉活動を広めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉関係事業者懇談会を開催（1回/年）します。</li> <li>社会福祉法人の地域における公益的な取組を進めるため、管理者級職員による「公益的な取組に関する意見交換会」を開催（1回/年）します。</li> <li>管理者級職員による交流会を開催します。</li> <li>出前講座のメニューを作成し、特別会員との連携を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における公益的な取組の推進（埼玉県社協モデル事業）の一環として、市内9社会福祉法人の理事長等を対象に意見交換会を1回開催。それを機に、連携による地域公益活動を取り組むネットワーク組織設立に向け、実務者級職員による検討の場である「飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会（仮称）設立準備会」を設立し、2回開催した。</li> <li>多職種連携のための「飯能・日高地区ワールドカフェ（2回開催）」の運営支援を行った。</li> <li>地域における公益的な取組の推進（埼玉県社協モデル事業）の一環として、市内9社会福祉法人の理事長等を対象に意見交換会を1回開催。それを機に、連携による地域公益活動を取り組むネットワーク組織設立に向け、実務者級職員による検討の場である「飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会（仮称）設立準備会」を設立し、2回開催した。同時に名刺交換会を実施。</li> <li>不実施</li> </ul>		

基本目標	基本施策	施策内容	主な取組	実施計画	取組実績	委員からのコメント
<b>基本目標4【安】安心して暮らせる仕組みをつくろう</b>						
<b>1 相談支援体制の強化</b>						
<b>(1) コミュニティソーシャルワーカーの充実 【重点目標2】 【重点目標4】</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティソーシャルワーカーをすべてのふくしの森圏域（13圏域）に配置し、地域課題の解決に向けた取組を進めます。</li> <li>・ふくしの森ステーションをすべてのふくしの森圏域（13圏域）に設置し、身近な相談支援を充実します。</li> <li>・コミュニティソーシャルワーカーとふくしの森ステーションの役割や活動について周知を図ります。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティソーシャルワーカーの増員（2名）します。</li> <li>・コミュニティソーシャルワーカー事業規程を作成し、運用します。</li> <li>・コミュニティソーシャルワーカーの増員に合わせ、ふくしの森ステーションの増設を検討します。</li> <li>・ふくしの森プランを周知するための啓発品を作成、配布（5,000部）します。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティソーシャルワーカーを1名増員した。</li> <li>・不実施（コミュニティソーシャルワーカー事業規定作成・運用）</li> <li>・飯能市に対し、「コミュニティソーシャルワーカー配置計画」を作成・提案した。</li> <li>・ふくしの森プランの基本理念を掲載したクリアファイルを5,000部作成し、小学1年生、本会が主催もしくは出席するイベント、会議等の参加者に配布した。</li> </ul>		
<b>(2) ネットワークによる相談支援体制の強化 【重点目標2】</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合的で複雑な課題を解決するため、様々な専門分野のネットワークを整備し、協働により総合的な相談支援体制を強化します。</li> <li>・ふくしの森圏域ごとに相談支援者地域連携会議を設置し、定期的に開催します。</li> <li>・相談支援者を対象とした合同研修会や学習会を開催します。</li> <li>・社会福祉士など専門職の現場実習に協力します。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉関係事業者懇談会を開催（1回/年）します。</li> <li>・相談支援者地域連携会議の段階的設置と定期開催を進めます。</li> <li>・市と連携して、合同研修会等を開催します。</li> <li>・社会福祉士現場実習の受入体制を強化するため、職員が実習指導者講習を修了（2名）します。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における公益的な取組の推進（埼玉県社協モデル事業）の一環として、市内9社会福祉法人の理事長等を対象に意見交換会を1回開催。それを機に、連携による地域公益活動を取り組むネットワーク組織設立に向け、実務者級職員による検討の場である「飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会（仮称）設立準備会」を設立し、2回開催した。</li> <li>・多職種連携のための「飯能・日高地区ワールドカフェ（2回開催）」の運営支援を行った。</li> <li>・本会、地域包括支援センター、在宅介護支援センター等との共催により、連携強化・情報共有を目的とした「専門職連携会議（地域ケア会議）」を8地区で開催した。（飯能地区、第二区、加治地区、南高麗地区、吾野地区、東吾野地区、原市場地区、名栗地区）</li> <li>・不実施</li> <li>・1名の職員が実習指導者講習を修了した。</li> <li>・社会福祉士現場実習受け入れについては、2名を受け入れた。</li> </ul>		
<b>2 権利擁護の推進</b>						
<b>(1) 権利擁護に関する取組の充実</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護に関する学習の機会の提供や、取組を周知します。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護に関する学習の機会の提供や、取組を周知します。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・不実施</li> </ul>		
<b>(2) 成年後見制度に関する取組の充実</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見支援センターの充実を図り、関係機関との連携を強めます。</li> <li>・市民後見人養成講座を開催し、市民後見人の育成を進めます。</li> <li>・法人後見事業の充実を図ります。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見支援センター機能を充実させるため、設置規程の整備と運用を進めます。</li> <li>・市民後見人養成講座を開催し、市民後見人の育成を進めます。</li> <li>・事業体制を強化するため、専従する後見支援員を配置します。</li> <li>・後見支援マニュアルを作成します。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・不実施</li> <li>・「市民後見人養成講座（実践編）」を開催し9名が修了した。</li> <li>・講座修了者から新たに3名を後見支援員として雇用した。</li> <li>・後見支援マニュアルの作成を進めた。</li> </ul>		
<b>3 防災・防犯の地域づくり</b>						
<b>(1) 安心して暮らせる地域づくり</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンターを円滑に運営するため、災害ボランティアセンター運営訓練を実施します。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本会の独自開催として、災害ボランティアセンター運営訓練を実施します。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員による「災害ボランティアセンター立ち上げ・運営訓練」を実施しマニュアルの改訂を進めた。特に台風被害を想定したものをマニュアルに取り入れた。</li> <li>・被災地支援として千葉県君津市へ職員派遣を1名行った。</li> </ul>		
<b>4 すこやかに暮らせる地域づくり</b>						
<b>(1) 地域の保健活動との連携</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師や管理栄養士などと連携し、相談支援や地域福祉推進組織などの活動支援を充実します。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、保健師や管理栄養士などと連携し、相談支援や地域福祉推進組織などの活動を支援します。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における個別の相談にて適宜、保健師等と連携することができた。</li> <li>・保健師とCSWが連携し、名栗にて「こころとからだの健康講座 こころはればれ！からだいきいき！（ゲートキーパー研修）」を実施した。</li> </ul>		